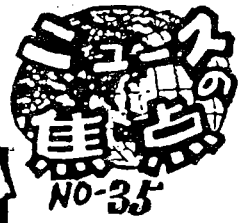


売上税で自民大混乱と岩手参院補選の惨敗



中曽根政権の末期症状



87. 3. 16

No. 2502

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六）公衆）〇四七二（二二）七二〇七

売上税の是非が最大の争点になった参議院岩手選挙区の補欠選挙の投票が八日に行われ、社会党公認候補が自民党候補を二十万票以上引き離して「圧勝」した。昨年七月のダブル選挙後、事実上初の国政選挙において、中曽根が押し進めてきた「売上税」が原因で自民党が大敗北したということは非常に注目すべき点だ。労働者の中曽根に対する怒りが現れたものと言える。

「保守王国」で自民党大敗

八日に行われた投票は、社会党候補四二万一四三三票、自民党候補、一九万七八六三票という二十万票以上の大差がつく結果となり、「保守王国」と言われる岩手の大敗だけに中曽根政府・自民党の中枢においても大きな衝撃となっている。

結局、敗北の最大の原因が、中曽根によつて強引に推し進められてきた「歯止めなき軍拡」と一体不可分のものとしてある「売上税」にあったこと、さらに釜石市の鉄不況・農村部での「米」問題の不満が追い打ちをかけるなど、中曽根への労働者・人民の怒りが爆発したことを物語っている。

売上税導入で歯止めなき軍拡を狙う

はつきりと言えることは、中曽根政治が国鉄分割・民営化の大失敗をかきりに、売上税問題や防衛費GNP比一％枠突破問題で、労働者・人民の反撃の前に完全に行きづまり、一大乱調をきたしているということである。

石炭・鉄鋼・自動車でのすさまじい大合理化や、二百万失業時代の到来が資本体制の行きづまりであるということ労働者・人民が実感しはじめている。にもかかわらず中曽根は、この不況を乗り切るために売上税を導入し、労働者・人民から税金をしぼりとり、なおかつ

それを防衛予算にあて、歯止めなき軍拡路線を突走ろうとしたのだ。この中曽根政治に対する怒りが岩手で自民党「大敗」というかたちで現れたのだ。

国鉄・三里塚で中曽根打倒を

今こそ中曽根を打倒する絶好のチャンスである。

国鉄分割・民営化を大失敗にたたきこんだ勤労千葉や国労の仲間の闘い方、二二年間「不屈」「非妥協」で闘いぬいている三里塚での闘い方が、いまこそ全国の労働者のものとなる時が来た。

この実力闘争こそ中曽根を打倒する唯一の闘い方だ。

3・29三里塚へ根こそぎの決起を。そして、「四月一日」を迎えうち、続く中江、北原選挙に大勝利しよう。

●半年前までは50%以上あった支持率も急落
●売上税・防衛費問題で危機深める中曽根

強い拒絶、自民に衝撃

売上税 3/10 朝日 政局・統一也、「影響

74%が「公約違反」影響

売上税反対は82%

撤廃反対61%

3/4 朝日 不支持は56%に

